

中学校英語科 学習指導案

千里みらい夢学園
吹田市立竹見台中学校
指導者 吉川希美
Nicola Murata

1. 日 時 平成25年12月6日(金) 第6時限 14時25分～15時15分
2. 学年・組 第2学年1組(22名)
3. 場 所 2-1 教室
4. 単元名 My dream ～自分の考えを伝えよう～
5. 単元目標
 - ・将来の夢、したいことについて真剣に考え、それを英語の文章で書く。
 - ・将来の夢について相手に伝える。
 - ・相手のスピーチに関する質問をする。
6. 生徒観 明るく素直な生徒が多く、英語の学習に対する姿勢も前向きである。間違えることを恐れず、積極的に発話する生徒が多い。英語で表現することに対して前向きな生徒が多く、英語で話したり、英語を書いたりする活動も積極的に取り組むことができる生徒が多い。英語に対して苦手意識がある生徒もいるが、分からないところがあれば教え合い、助け合いながら学習に取り組むことができる。
7. 教材観 小学校の外国語活動 Hi Friends! Lesson8 で将来の夢について学習をした。中学生になって改めて自分の将来について真剣に考え、習得の時間で学んだ文法項目や表現を用いて、将来の夢やしたいことについて英文を書き、それを相手に伝える。また他者のスピーチに関する質問をしたり、答えたりしながら対話をつなげていく。
8. 指導観 小学校の頃から英語学習に慣れ親しんでいるので、AET とのインタビューでも臆することなく話すことができるが、直近で学習した文法項目、表現の活用のみに留まっている生徒が多い。自分の思いを書いたり話したりする力がまだまだ足りないので、活用の時間では「自分の思いや考え」を話すこと書くことによって、「伝える」ということに重きを置いている。テーマを変え、書くこと話すことといった、「伝える」活動を何度も取り入れていき、自分の思いを表現できるようにしていきたい。

9. 単元の評価規準

A コミュニケーションへの関心・意欲・態度	B 表現の能力
気持ちを込めて自分の思いを相手に伝えることができる。【A-①】 積極的に英語で話すことができる。【A-②】	既習の表現、文法を用いて将来の夢やしたいことについて英語で書くことができる。【B-①】 相手のスピーチに関する質問をしたり答えたりすることができる。【B-②】 相手のスピーチを聞いてそれについてのレポートをかくことができる。【B-③】

10. 単元の指導計画

	生徒が学習する内容	主な評価規準
第1時	<ul style="list-style-type: none"> 辞書や竹見英語 BOOK、教科書等を使って、将来の夢やしたいことについて書く。 (未来予想図を作る。) 	【B-①】
第2時	<ul style="list-style-type: none"> スピーチ作成の続き / 出来た生徒は AET と発音等の練習。 	【B-①】
第3時	<ul style="list-style-type: none"> 列ごとにペアを作りで互いに練習、ローテーションしていく。 / AET に聞かせる、AET からの質問に答える。 	【A-①】
第4時	<ul style="list-style-type: none"> 前時と列を変え発表練習、質問を考え相手にたずねる。 (リアクションを意識) AET に机間巡視してもらい、発表のアドバイスをもらう。 	【A-①】 【B-②】
第5時 本時	<ul style="list-style-type: none"> AET と JET のデモンストレーションを見ながら、本時の流れを理解する。 互いに発表をしたり、質問をしあう。 友だちのことについて書いてまとめる。 スピーチのやりとりの後、全員の前で友だちを取材し、情報を共有する。 	【A-①】 【B-②】 【B-③】

11. 本時について

(1) 本時の目標

- 気持ちを込めて自分の思いを相手に伝える。
- スピーチに関連するような質問を作り、質問をする。

(2) 本時の評価規準

- 自分の思いを相手に伝えることができる。
- スピーチに関する質問をしたり、答えたりすることができる。

(3) 学習過程

	生徒の学習活動	指導内容 (○) 指導上の留意点 (●)	主な評価基準
導入 5分	クリスクロス (英語の頭に切りかえる)	○既習の文法表現を用いて、ゲームをする。	行動の観察
7分	AET と JET のデモンストレーションを見て、本時の流れをつかむ。(相手にどのような質問を、どんなタイミングでしたらいいのか考える。) 質問事項の読み方練習。	●生徒に伝わりやすいように、感情を込めて演じる。 ○どのような質問をしたらいいか生徒に確認する。	
2分	自分のスピーチ原稿の読み方を自席で練習。	○読めない単語等の手助けをする。	
展開 3分	基本的な質問の他に、オリジナルの質問を1つ作る。(できる生徒は2つ)	○質問を作れない生徒がいたら手助けをする。	【A-①】 【B-②】
20分	スピーチをお互いに発表しあう。(対話形式で) 1グループ約6分程度×3 (3回目は歩き回って、誰としてもよい。)	○読めない単語等の手助けをする。 ●スピーチ原稿をただ読むのではなく、質問をし、質問に答えていくような対話形式になるように注意する。 ○会話が止まってしまう生徒がいたら手助けをする。	行動の観察 【A-①】 【A-②】 【B-②】
3分	メモをもとに、友だちのことについてレポートをまとめる。(最後の相手について。)	○書くことができない生徒がいたら手助けをする。	【B-③】
発表 10分	インタビューする人、インタビューされる人に分かれて、全員の前で友だちを取材する。 適宜、AET からの質問も入る。 なるべく多くのペアを当てる。 あいさつ	○AET が出席番号を読み上げる。 ○答えられない生徒がいたら手助けをする。	【A-②】 【B-②】